

大震災・復興ニュース（第8報）

平成23年6月10日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

東日本大震災による被災小型船舶の再生支援プロジェクトについて

日本財団、地元の造船関係事業者、漁業関係者、自治体及び舟艇メーカーが連携して、岩手県及び宮城県内に10カ所程度の仮設修理場を設置し、以下の小型漁船の修理事業を実施する。

- ・実施期間： 2011年6月上旬より3ヶ月間を目処に実施する。
- ・実施地域： 釜石市、大船渡市、南三陸町、石巻市、東松島市、亘理町等全体で約10カ所に仮設修理場を設置する。
- ・対象船舶： 船外機艇を中心とした小型漁船を対象に、仮設修理場1カ所につき100隻、合計1,000隻程度の修理を実施する。
- ・修理希望船舶の受付・調整： 岩手県漁連・宮城県漁協が、修理希望船舶の受付・調整、運搬・集積・搬送等を実施する。宮城県の受付窓口は、宮城県漁協指導部（0225-21-5740）
- ・運営体制： 日本財団、(社)日本舟艇工業界、(社)海洋水産システム協会、全国漁業協同組合連合会、国土交通省及び水産庁からなる運営委員会により実施する。

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

県管理漁港内及び漁場の啓開(けいかい)作業状況（担当：漁港漁場班，水産振興班）

県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、

- ・荒浜漁港では5月9日から作業に着手し、6月3日に完了した。
- ・磯崎漁港は、6月6日から再開し、6月10日完了予定。
- ・塩釜漁港越の浦地区への航路の啓開作業は、6月13日から作業予定。
- ・漁場の啓開作業は、5月23日から松島湾で着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で作業を行っている。バックホウ台船が6月13日から松島湾に入ることから3台体制での作業となる。また、仙台湾漁場の支障物確認測量を6月10日から着手予定。

漁港の応急復旧状況（担当：漁港漁場班）

- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間を1次応急工事として大型土のうによる仮締切堤を4月27日から着工し、TP2mまでの作業は完了している。台風2号による高潮による越波の影響があったことから現在決壊している箇所の高上げ工事を早急に実施する予定。
- ・荒浜漁港南導流堤基部の決壊箇所の閉塞工事については、現在工事用車輛進入のための仮設道路工事を検討中。
- ・磯崎漁港長田地区の臨港道路の舗装補修等については、7月から実施予定。
- ・桂島漁港のトイレの復旧工事は、業者が決定し6月13日に着手予定。

災害調査について（担当：漁港漁場班）

・災害査定の日程が決定した（右表）。

なお、市町管理漁港の査定は、7次査定以降となっている。

震災による漁船の登録抹消（登録票失効返納）状況（担当：漁業調整班）

震災により滅失や行方不明等となった漁船の登録抹消事務を行っている。管内の20トン未満漁船の震災前の登録漁船数2,875隻のうち、6月7日までに登録抹消した漁船数は713隻となり、今後も増加が見込まれる。

1次査定	2次査定	3次査定
7月19～22日	8月8～12日	8月29～9月2日
4次査定	5次査定	6次査定
9月12～16日	9月26～30日	10月10～14日
7次査定	8次査定	9次査定
10月17～21日	11月1～4日	11月7～11日
10次査定	11次査定	12次査定
11月21～25日	11月28～12月2日	12月12～16日
13次査定		
12月19～23日		

<トピックス>

松島でカキ養殖施設の復旧作業が始まった。

松島湾内ではノリ、カキの養殖が盛んに行われていたが、大震災により養殖施設が流出し甚大な被害を受けた。

漁業者は今秋の生産に向けカキ養殖施設の復旧作業に取りかかり始めた。カキの施設は竹と丸太を組んで作成するため、陸上で竹や丸太を切ったり、穴を空けて細工し、これを船で養殖漁場に運んで、竹を海底にさして、組み立ててゆく事になる。



（磯崎での作業風景）

津波により底泥が流され、竹をさすのが大変となった所もあり、作業は重労働となるが、今秋の生カキの生産に向けて、希望を持って作業に取り組んでいる。秋には美味しい松島産カキが食卓に並ぶことが、期待される。

塩釜市魚市場水揚状況

- ・塩釜市魚市場は、震災後の4月4日に陸送物の上場、4月14日には鮪延縄船1隻が初水揚げした後、沖合底びき網漁船や旋網漁船等の水揚げが行われている。
- ・水揚げは、3・4月が震災による市場休止で前年を大幅に下回ったものの、1月の水揚げが好調であったことに加え、これまで石巻に水揚げしていた沖合底びき網漁船の塩釜市魚市場への水揚げなどから、平成23年1月から5月末までの水揚量は4,960トン、水揚金額が21億2,469万円で、前年比はそれぞれ81.3%、71.1%となり大幅な落ち込みとなっていない。
- ・今後水揚げが予定されているカツオー本釣り漁船については、水揚用のタンクを整備するなど受け入れの準備を進めている。

塩釜市魚市場水揚状況

(ト、千円、%)

月	平成23年		平成22年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,405	653,198	822	395,109	170.9	165.3
2	916	439,655	1,281	575,277	71.5	76.4
3	246	153,638	1,147	576,893	21.4	26.6
4	221	168,510	629	423,588	35.1	39.8
5	2,172	709,689	2,222	1,016,680	97.7	69.8
累計	4,960	2,124,690	6,101	2,987,547	81.3	71.1